

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

| | | | | | | | | | |
|------|------------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|-------|
| 政策 | 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 03 文化・歴史遺産の保存と継承 | | | | | | | | |
| 開始年度 | 平成 7年度 | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | 奨励的補助 |

| | |
|---|--|
| 事務事業の目的と成果 | |
| 対象（誰、何に対して事業を行うのか） | |
| 江別市野幌太々神楽伝承会 | |
| 手段（事務事業の内容、やり方） | |
| 伝承活動費、用具購入費を助成する補助金の交付。 【補助金の根拠】「江別市教育振興事業補助金交付規則」 | |
| 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） | |
| 指定文化財「野幌太々神楽」の保存伝承活動を全市的活動に広げる。 | |

| | | | | | | |
|------------------|---------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 指標・事業費の推移 | | | | | | |
| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
| 対象指標 1 | 構成員数 | 人 | 29 | 24 | 24 | 24 |
| 対象指標 2 | | | | | | |
| 活動指標 1 | 補助金額 | 千円 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 活動指標 2 | | | | | | |
| 成果指標 1 | 発表会及び研修会等活動日数 | 日 | 30 | 32 | 33 | 32 |
| 成果指標 2 | | | | | | |
| 事業費 (A) | | 千円 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 803 | 802 | 781 | 782 |
| 総事業費 (A + B) | | 千円 | 1,103 | 1,102 | 1,081 | 1,082 |

| | | |
|------|---|------------------------|
| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
| 25年度 | 江別市野幌太々神楽伝承会の公演等の伝承普及活動に対し、補助金を交付し助成する。 | 江別市野幌太々神楽伝承会への補助 300千円 |

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| 野幌太々神楽を市の伝統芸能として位置づけ永く後世に伝えることを目的として平成7年に発足し、全市的な保存伝承活動に取り組んでいる団体に対する補助金の交付事業である。 | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 会の活動は年を追うごとに活発化し、平成13年からは自主発表会の開催や依頼公演の増加など、組織として自立し始めている。併せて指定文化財の保持団体である野幌太々神楽保存会との交流も順調に進められている。 | |

| | |
|--|---|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い | 理由根拠 指定文化財の保存、伝承活動を促進させる上で妥当である。 |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | 理由根拠 保持団体の保存会のみならず、市民が参加して伝統芸能を伝え残す事業展開であり、基本事業への貢献度は多大である。 |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない | 理由根拠 活動実績等により市民の認知度も増しており、保存会との交流も順調に行われていることから、無形文化財の保存活動として成果を上げている。 |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| <input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし | 理由根拠 会の活動が全市的に認知され始め、地域のイベント等への公演依頼が増加してきている。また、会の活動の中に学校等での伝承活動を行うことが目的のひとつとしてあげられており、これらが増加、定着して行けば、成果は大きく向上する。 |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？ | |
| <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし | 理由根拠 神楽は舞の種類も多いため、舞に使用する備品だけでも相当数にのぼり、未だ全てを整備するまでに至っていない。また、整備済みの備品でも修繕が必要となる場合もある。 |